

スポット
ニュース

深度500mの水平坑道の掘削

瑞浪超深地層研究所では、5月24日現在、主立坑は深度492.4mまで、換気立坑は深度500.2mまでの掘削が進んでいます。換気立坑については、今年度予定した深度500mまでの掘削が終了したため、現在は深度500mの水平坑道（予備ステージや調査研究用の水平坑道）の掘削を進めています。なお、深度500mの調査研究用の水平坑道は坑道が大きいので、上部と下部に分けて掘削しています。

これらの水平坑道についても立坑での調査研究と同様に壁面観察を行いながら掘削を進めています。



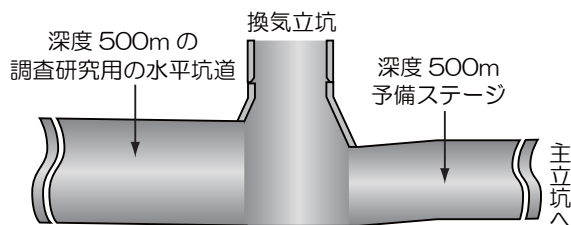
換気立坑（深度500.2m）



深度500mの調査研究用の水平坑道の壁面観察



深度500m予備ステージ



【換気立坑側の水平坑道のイメージ図】

立坑の掘削深度 (5月24日現在) 主立坑 **492.4 m** 換気立坑 **500.2 m**

◀地層研ニュース等に関する連絡先▶

地層研ニュースに関するご意見・ご要望や瑞浪超深地層研究所の見学のご希望などについては、下記へご連絡ください。

【電話】0572-66-2244(代表) 【FAX】0572-66-2124 【E-Mail】tono-ck@jaea.go.jp

《東濃地科学センターHP : <http://www.jaea.go.jp/O4/tono/index.htm>》

東濃地科学センター 地域交流課（戸祭、飯島、牧田、福島）



来月の主な作業予定 (6月)

【瑞浪超深地層研究所】

- ①主立坑と換気立坑及び水平坑道の掘削工事
- ②深度300m研究アクセス坑道のボーリング孔を用いた地下水の水圧観測を継続
- ③深度200mボーリング横坑のボーリング孔(2孔)及び深度300mボーリング横坑のボーリング孔(3孔)を用いた地下水の水圧観測を継続
- ④深度200m,300m,400m予備ステージのボーリング孔を用いた地下水の水圧・水質観測を継続
- ⑤地表からのボーリング孔(6孔)を用いた地下水の水圧・水質観測を継続
- ⑥深度300m研究アクセス坑道のボーリング孔(2孔)を用いた地下水の水圧・水質観測を継続（電力中央研究所との共同研究）
- ⑦深度300m研究アクセス坑道のボーリング孔を用いた地下水の水圧・水質観測を継続（産業技術総合研究所との共同研究）
- ⑧研究坑道内における傾斜計を用いた岩盤の変位計測及び重力計測等（東濃地震科学研究所との研究協力）
- ⑨表層水理定数観測（雨量、湿度、気温等の気象観測及び地下水の水圧の変化を推定するための地表のわずかな傾きの観測等）を継続
- ⑩狭間川における流量観測の継続及び研究所周辺井戸での水位観測の継続
- ⑪研究坑道の掘削土及び排出水等に伴う環境管理測定を継続
- ⑫排水処理設備におけるふっ素、ほう素の除去後の排水

【正馬様用地】

- ①地表からのボーリング孔(6孔)を用いた地下水の水圧・水質観測を継続

瑞浪超深地層研究所の地下を体験しよう！

瑞浪超深地層研究所では、地下深部を体験できる施設見学会を下記のとおり開催します。参加をご希望の方は事前申込が必要となりますので、6月23日(木)までに住所、氏名、電話番号を左下の連絡先までお知らせください。また、申込み多数の場合は締切り前に受付を終了させていただくこともありますのでご容赦ください。なお、当施設見学会は毎月開催する予定です。

【日 時】平成23年6月25日(土) 9:30～11:30

【内 容】地下300mの世界を体験いただけます。

【対 象】小学校4年生以上

（ 工事現場での安全の確保のため、小学生の方は4年生以上で保護者同伴をお願いします。また入坑の際は、安全装備（つなぎ服・反射ベスト・ヘルメット・安全長靴・軍手・坑内 PHS など）を着用して頂きます。工事現場ですので、狭くて急な階段等もあります。階段の昇降等が困難な方など自立歩行に支障のある方や高所、閉所恐怖症の方などは研究坑道に入坑できない場合がありますので、事前にご確認をお願いいたします。



施設見学会（深度300m研究アクセス坑道）

※氏名等の個人情報は、当機構主催の見学会や講演会等のご案内に使用させていただく場合があります。

「瑞浪超深地層研究所に係る環境保全協定書」第2条に基づく排出水等の測定結果（平成23年4月分）

【採取日：平成23年4月7日】
 （排水、河川水、湧水、主立坑掘削土、換気立坑掘削土）

単位：mg/ℓ（水素イオン濃度はpH）

測定項目	管理目標値	工事排水	狭間川下流
水素イオン濃度	6.5～8.5	7.1	7.3
浮遊物質量	25以下	1未満	2
カドミウム	0.01以下	0.001未満	0.001未満
全シアン	検出されないこと	検出されず	検出されず
有機燐化合物	検出されないこと	検出されず	
有機燐	検出されないこと		
鉛	0.01以下	0.005未満	0.005未満
六価クロム	0.05以下	0.04未満	0.04未満
砒素	0.01以下	0.005未満	0.005未満
総水銀	0.0005以下	0.0005未満	0.0005未満
アルキル水銀	検出されないこと	検出されず	検出されず
PCB	検出されないこと	検出されず	検出されず
トリカドミウム	0.03以下	0.002未満	0.002未満
テトラカドミウム	0.01以下	0.0005未満	0.0005未満
四塩化炭素	0.002以下	0.0002未満	0.0002未満
ジカドミウム	0.02以下	0.002未満	0.002未満
1,2-ジカドミウム	0.004以下	0.0004未満	0.0004未満
1,1,1-トリカドミウム	1以下	0.0005未満	0.0005未満
1,1,2-トリカドミウム	0.006以下	0.0006未満	0.0006未満
1,1-ジカドミウム	0.02以下	0.002未満	0.002未満
ビス-1,2-ジカドミウム	0.04以下	0.004未満	0.004未満
1,3-ジカドミウム	0.002以下	0.0002未満	0.0002未満
チウラム	0.006以下	0.0006未満	0.0006未満
シマジン	0.003以下	0.0003未満	0.0003未満
チオベンカルブ	0.02以下	0.002未満	0.002未満
ベンゼン	0.01以下	0.001未満	0.001未満
セレン	0.01以下	0.002未満	0.002未満
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	10以下	0.28	0.25
ふっ素	0.8以下	0.2	0.2
ほう素	1以下	0.36	0.27
塩化物イオン	—		
アソシアム、アソビウム化合物、亜硝酸化合物及び硝酸化合物	—	0.28	

※1 立坑の湧水	※2 狭間川上流	※3 掘削土の溶出量（主立坑）	※4 掘削土の溶出量（換気立坑）
8.8	7.1		
	2		
0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満
検出されず	検出されず	検出されず	検出されず
		検出されず	検出されず
0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満
0.04未満	0.04未満	0.04未満	0.04未満
0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満
0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満
検出されず	検出されず	検出されず	検出されず
検出されず	検出されず	検出されず	検出されず
0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満
0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満
0.0002未満	0.0002未満	0.0002未満	0.0002未満
0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満
0.0004未満	0.0004未満	0.0004未満	0.0004未満
0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満
0.0006未満	0.0006未満	0.0006未満	0.0006未満
0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満
0.004未満	0.004未満	0.004未満	0.004未満
0.0002未満	0.0002未満	0.0002未満	0.0002未満
0.0006未満	0.0006未満	0.0006未満	0.0006未満
0.0003未満	0.0003未満	0.0003未満	0.0003未満
0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満
0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満
0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満
0.095	0.21		
9.1	0.1未満	0.1	0.1
1.2	0.02未満	0.02	0.02
180			

【測定期間：3月30日～6月末日】

花木の森散策路における空間放射線線量率	参考値	測定結果
	測定中 周辺地域の空間放射線線量率と同等※5	測定中 3ヶ月の集積空間放射線線量※6から算出

※1 立坑の湧水の値は排水処理によりふっ素、ほう素を除去する前の湧水の値です。排水処理後、狭間川へ排水します。
 ※2 狭間川上流は管理の対象となりませんが、湧水は排水処理プラントの運転の参考、河川上流は河川状態の把握等のため測定しています。
 ※3 掘削土の溶出量は、掘削土の溶出量と一定時間（一時間当たり）の空間の放射線線量の量のことです。3ヶ月の集積空間放射線線量とは3ヶ月間にわたって測定された空間放射線線量の集積量のことです。
 ※4 掘削土の溶出量（換気立坑）は管理の対象となりませんが、湧水は排水処理プラントの運転の参考、河川上流は河川状態の把握等のため測定しています。
 ※5 参考値は、花木の森散策路における空間放射線線量率と同等です。
 ※6 測定結果は、3ヶ月の集積空間放射線線量から算出されています。

注意：□は参考値

【掘削区間程度毎の掘削土溶出試験結果（主立坑）】

（単位：mg/ℓ）

項目（参考値）	ふっ素 (0.8以下)	ほう素 (1以下)	砒素 (0.01以下)	鉛 (0.01以下)	総水銀 (0.0005以下)
掘削区間 472.1m～484.6m	0.1	0.02未満～0.10	0.005未満	0.005未満	0.0005未満

【掘削区間程度毎の掘削土溶出試験結果（換気立坑）】

（単位：mg/ℓ）

項目（参考値）	ふっ素 (0.8以下)	ほう素 (1以下)	砒素 (0.01以下)	鉛 (0.01以下)	総水銀 (0.0005以下)
掘削区間 485.3m～497.7m	0.2～0.5	0.02～0.06	0.005未満	0.005未満	0.0005未満

排出水等の塩化物イオン濃度の測定結果(4月)

測定項目	狭間川上流	立坑の湧水	工事排水	明世小学校前取水口
塩化物イオン濃度 (単位：mg/ℓ)	1.4～1.6	170～210	130～210	5.4～88

※ 明世小学校前取水口における月平均の濃度が300mg/ℓを超える、又はその恐れがある場合は、直ちに耕作者の方々にお知らせし、これが長期間に及び予想される場合は、500mg/ℓを超える前までに必要な対策を講じます。

瑞浪国際地科学交流館のミニギャラリーの展示案内

瑞浪国際地科学交流館の1階のミニギャラリーでは、「瑞光会絵画展（仮称）」として風景等の油絵の作品を展示予定です。是非、交流館へ足をお運びください。また、展示作品の募集も随時行っております。展示は無料ですので、お気軽にお問合せください。

【期 間】6月1日（水）～6月30日（木）（10:00～17:00 入館無料）

【場 所】瑞浪国際地科学交流館 [瑞浪市明世町戸狩字大狭間 36-8]

※展示に関するお問い合わせ等は、表面の連絡先へお願いします。

瑞浪超深地層研究所の関連記事への申入れについて

週刊誌「週刊現代」2011年4月30日号（4月18日発売、講談社）及び雑誌「プレジデント」2011年5月2日号（4月11日発売、プレジデント社）の瑞浪超深地層研究所に関連する記事の中に事実と異なる誤解を招く表現があり、両社を訪問して抗議するとともに記事の訂正を求めました。

両社からの回答など詳細については、当機構ホームページの記事解説をご覧ください
 （http://www.jaea.go.jp/02/2_11.shtml）